

愛媛県の大洲市といえば、伊予の小京都といわれる城下町である。100名城に数えられるお城は肱川に面しており、伊予の穏やかな気候とあいまって、風光明媚な土地柄として知られる。ゆえに、日本映画やNHK朝ドラ「おはなはん」のロケ地に供されることが多い。

日本映画の代表作といえば「男はつらいよ」だろう。義理の娘（真野響子）を追って東京に迷い込んだ大洲の殿様（嵐寛寿郎）の邸宅に寅さんが訪れる。そこで、執事（三木のり平）とドタバタ喜劇を演じる。この大洲の肱川のほとりにある三善地区の住民が、今年7月の西日本豪雨においてみせた堂々たる避難行動の“殿様ぶり”が話題となっている。

肱川は上流のダムの放流の影響で、下流に死者がでたとして批判の矢面にたたさされているが、同じ流域の三善地区では、住民60人がいち早く避難して全員無事だった。ダムの放流も計算にいられて、より高台に避難した。

この避難行動の背景には、もちろん、日頃の避難マップづくりがあり、住民は地域にどのような災害が起きるか熟知していたのだ。視察した防災研究者に対して、住民は「自分たちで判断して逃げるのは当然。ダムの水位などのデータをもらえればもっと効率的に避難できた」と話したそうだ。

同様の話は、以前のコラムで紹介したように、岡山県総社市にもあった。住民たちが、自ら住まう土地に愛着を感じてこそその行動だろう。そういった土地柄だからこそ、寅さんの映画のロケ地として選ばれたに違いない。

(平成30年10月)

第 **19** 作

男はつらいよ

寅次郎と殿様

公開日	1977年8月6日
観客動員数	140万2000人
ゲスト	真野響子 嵐寛寿郎 三木のり平 平田昭彦
旅の場所	愛媛県大洲
監督	山田洋次

寅さん、殿様になりそこねる

News

とらやに野良犬が居着く。名はトラ。満男、端午の節句の祝いに鯉のぼりを買ってもらう。

寅次郎のひとこと

この敷居またいた時に、いい女にばったり会って、その女と所帯持ちちゃうかもしれねえもんな。そういったことを信じて、生きていこうじゃねえか、な。

筑摩書房「寅さん大全」(井上ひさし監修)から